



技術史教育

第118号

2019.4.30

Education for History of Technology

第118号目次

- 日本技術史教育学会2019年度総会・研究発表講演会の開催にあたって……山舘 順(1)
 日本技術史教育学会2019年度総会・研究発表講演会開催案内……山舘 順(2)
 「関西支部2018年度(通算第16回)総会・研究発表講演会」開催報告……南 正晴(3)
 お知らせ・理事会議事録・編集後記 …………… (4)

【総会案内】

日本技術史教育学会2019年度 総会・研究発表講演会の開催にあたって

2019年度総会・研究発表講演会実行委員会
 実行委員長 山舘 順(サレジオ高専)

新たな年号令和改元の年にあたり、本校に於いて日本技術史教育学会総会・研究発表講演会を開催できることに大きな喜びを感じております。

本校での総会は 2011 年に続き二回目となりますが、本校の長い歴史に改めて触れたいと思います。本校は 19 世紀イタリアの聖職者ヨハネ・ボスコが設立したカトリックのサレジオ修道会に原点があります。

ヨハネ・ボスコは英仏に遅れて産業革命が進行中だった北イタリアのトリノに於いて、当時拡大しつつあった貧富の格差や、労働者の子弟が不十分な教育環境の下にある状況への対策として布教と共に本格的な職業訓練の実践活動を開始しました。

その後アルゼンチンなど中南米への布教も広がる中、1926 年には会員のチャッチ神父が来日、布教の傍ら印刷学校を開設、1934 年東京育英工芸学校の名でスタートしました。

戦後、育英工業高等専門学校となり杉並区井草に在りましたが、2005 年に町田市小山ヶ丘の現キャンパス移転と同時にサレジオ工業高等専門学校と改称、現在に至っております。

サレジオ会は国内では直接の系列で 5 校、他に関連する学校、幼稚園を含めると 10 以上、世界全体では数千にのぼる学校が活動していますが、それらのうち高等教育機関の連合である IUS において本校はアジアの重要拠点となっております。

本校は「神は愛なり、技術は人なり、心理は道なり」の校是を掲げ、900 人近い学生と約 100 人の教職員とで構成され、国内でも類を見ないデザイン学科をはじめ、専攻科と電気工学、機械電子工学、情報工学の 4 学科編成で運営されております。

国内で唯一のカトリックミッションの高専という特徴を生かし、理工系の技術を人にやさしい技術として実現することをめざし、幅の広い視野を養いながら活動を続ける日々であり、人文系各科目においても本校は国公立高専にはあまり見られない特徴を備えております。

また本校教育の特徴のひとつにアシステンツァがあります。本校では「共にいる」という意味において使用され、「共にいて青少年のニーズに出会う事」、「共にいて青少年の人生をアシストする事」です。

学生との対話をとおして信頼関係を築くこと、自らが愛されている事を自覚できる事、さらには慈愛の姿勢を持つこと、具体的には教育者もまた学生から愛されるように努めることの重要性、又それでも技術教育の厳しい内容を備える必要があるという事は中々に簡単なことではありません。

しかし「教育」の原義であるペダゴジー=能力を引き出す事、を考える上で上記の諸項目は重要な事柄であると思います。

高専 5 年間で学生は自分の得意不得意が次第にはっきりと見えてきます。場合によっては行詰まることもあります。自らの方向性を見出すことが出来た場合の自信と成長が窺える彼らの表情は、何物にも代えがたい教員の宝物となっております。

そして初夏の一日、緑多い郊外のキャンパスの学会会場で技術を軸とする知の祝祭の宴が催され、相互の啓発と交流の場となり、ひいては皆様の心の糧をより一層恵み深いものとする事が出来ますよう、実行委員一同を代表してご挨拶申し上げます。

日本技術史教育学会2019年度総会・研究発表講演会開催案内

2019年度総会・研究発表講演会実行委員会
実行委員長 山舘 順(サレジオ高専)

日時:2019年6月8日(土),9:00~17:40

主催:日本技術史教育学会

共催:日本メカニズムアーツ研究会

場所:サレジオ高専2階231号室

〒194-0215 東京都町田市小山ヶ丘4-6-8
(地図は最終ページに掲載)

電話:042-775-3020(代)

【プログラム】

9:00 実行委員長挨拶

9:10~9:30 講演 サレジオ高専校長 小島知博神父
「サレジオ高専の技術教育について」

《特別講演》9:30~10:00

講師:大島真樹(サレジオ高専准教授)

「ランチェスター理論の応用による三増合戦の戦死者数」

休憩 10:00~10:05

《技術史・技術文化史Ⅰ》

- 10:05~10:25 嘉南大圳組合のトップ・枝徳二
武長玄次郎(木更津高専)
- 10:25~10:45 内田百閒と明治製糖私設鉄道
山舘順(サレジオ高専)
- 10:45~11:05 戦前・戦中の戦闘機開発に見る
開発力の比較 第2報-開発者の視点から-
岡崎昭仁(神奈川工大)
- 11:05~11:25 古代メソアメリカ文明遺跡の現地調
査研究-第5報 マヤ文明古典期の都市(2)-ティカル
とコバン- 渡部紘一(元松江高専)

昼食 11:25~12:30

《技術史・技術文化史Ⅱ》

- 12:30~12:50 海の王都-壱岐の至宝-
○塩津宣子(技術文化史研究会)、下間頼一
(元関西大学)
- 12:50~13:10 周口店 北京原人遺跡の現地調
査研究-猿人洞を中心として- ○下間頼一(元
関西大)、汪蘇(北京建築大)、陳靖遠(北京建
築大)、塩津宣子(技術文化史研究会)
- 13:10~13:30 寝殿造の源流Ⅱ-釣殿を中心
にして- 佐々木 堯(関西大)
- 13:30~13:50 山口県常盤池の歴史-地勢、気
候の観点からの考察- 南 正晴(元三菱重工)

《技術論・技術教育》

- 13:55~14:15 「単位とその歴史」を導入とした工
学教育に関する一考察-高等学校の理系科目
(工業,化学)での授業実践-
○丸山晴男(足利大)、中條祐一(足利大)
- 14:15~14:35 森林理解教育の変遷 副読本
「私たちの森林」の分析から 奥野信一(福井大)
- 14:35~14:55 日本における大規模風力発電導
入の歴史(第3報)
○牛山泉(足利大)、飯野光政(足利大)
- 14:55~15:15 荒川区北千住に存在した産業遺
構・工場群 吉田喜一(都立産技高専)

休憩 15:15~15:20

《科学論・技術論》

- 15:20~15:40 APLとJ-英語によらないコンピュ
ータ言語-科学技術者への自身のプログラミングに向け
て 西川利男(日本APL協会)
- 15:40~16:00 球体車輪空陸両用ドローンの開発
○小沢康美(福井大)、高久有一(福井高専)坂
井毅、矢藤孝(原子力エンジニアリング)
- 16:00~16:20 ワンチップマイコンによるイントラ模型
飛行機の制御
○高久有一(福井高専)、松崎宙(福井高専)
- 16:20~16:40 佐渡金銀山内屏風沢間歩群と
吉田松陰著「東北遊日記」との関係 ○久間英
樹(松江高専)、福岡久雄(東京電機大学)

《総 会》 16:50~17:40

《懇 親 会》 18:00~20:00

【参加費】

- ・研究発表講演会参加登録費:3000円
 - ・懇親会参加費:4000円
- 昼食は、会場近くに飲食施設がございますのでそちらをご利用下さい。

【総会・研究発表講演会 参加申込み】

5月27日(月)17時必着で、同封の参加申込用紙に記入し、下記まで郵送またはFAXでお申し込みください。参加用紙をメールでご希望の場合、メールでのお申込みも可能です。参加者名簿作成や予約などのため、期日の厳守に御協力ください。
〒113-0034 東京都文京区湯島1-12-5 小安ビル6F(株)プラスワン気付 日本技術史教育学会2019年度総会・研究発表講演会実行委員会
FAX:03-3835-2494

【実行委員】

山舘順(サレジオ高専), 堤一郎(茨城大学), 鈴木夏夫(玉川大学), 武長玄次郎(木更津高専)

「関西支部2018年度総会(通算第16回)

・研究発表講演会(通算第12回)・見学会 開催報告

2018年度関西支部 総務幹事 南 正晴(元三菱重工)

《見学会》3月9日(土)、参加者13名がJR新幹線新神戸駅改札口で13時に集合して始まりました。最初に、新神戸駅の南側にある竹中大工道具館を見学しました。本竹中大工道具館は、2014年に開館30周年を迎えて新たにオープンした日本で唯一の大工道具の博物館。地下2階、地上1階の和風建築で威風堂々。日本の建築文化を未来に伝えようと、7つのコーナーに分けて、展示を通して、大工道具の歴史や種類、仕組み等がわかりやすく紹介されていました。次に、神戸シティ・ループパスに乗り、神戸市の繁華街三宮をバスで見学しながら、元町方面へと向かいました。神戸港震災メモリアルパークで、今から24年前の阪神淡路大震災によって被災し、そのままの状態で見学している刈ヶ波止場の岸壁を目の当たりに見ました。震災の物凄さを実感しました。その後、神戸海洋博物館を見学しました。世界の帆船やクルーズ船の模型展示や、港・神戸の歴史の紹介がありました。これで見学会を無事終えて、帰途、週末で賑わっている元町中華街散策を行い、16時30分ごろに自由解散となりました。



《研究発表会》3月10日(日)、参加者19名で9時50分から大阪産業大学梅田サテライトキャンパスで研究発表講演会が行われました。特別講演と12件の発表がありました。特別講演は、千葉市立加曾利貝塚博物館元館長の飛田正美様にお話し「科学と考古学」-科学技術応用の事例について-と題して御講演を賜りました。全国に先駆けて昭和61年に加曾利貝塚で遺跡測量に地中レーダー探査が実施されたこと、年代測定に放射線同位元素炭素14が用いられること他、考古学にとっていまや科学的アプローチが不可欠となっている点等、考古学分野の最新動向をお話し頂きました。研究発表講演では、(下間頼一会員)は北イェメンにギリシャ建築の起源を探るについて、(塩津宣子会員)は時を刻む-香時計に見る古代の技術-について、(渡部紘一会員)は古代メソポタミア文明遺跡の現地調査

研究-第4報 マヤ文明古典期の都市(1)-カラクムルとパレンケ-で講演されました。(井上敏孝会員)は朝鮮における石炭積み出し港の整備と水陸連絡設備の技術的特徴について、(真保光男会員)は国鉄電車カム軸制御の技術史調査-社内プロジェクトの記録-について、(山舘順会員)は内田百閒の初期文章における鉄道のテーマで講演されました。昼食、特別講演を挟んで、(吉田喜一会員)は都立産技高専・科学技術展示館の特徴について、(白井一会員)はフータンと日本の技術交流史(第8号) フータンの近代化黎明期の教育とロバート・オーエンの「教育観」について、(本多将和会員)は「防災」と「モノづくり」を連携させた工作教室の実践について講演されました。(山岡章宏会員)は関西鉄道の研究第4報 二つの桃山駅について、(佐々木堯会員)は寝殿造の源流について I -風水と浄土変相図を中心にして-、(南正晴会員)は日本最古のため池『狭山池』誕生の歴史についての考察のテーマで講演がありました。

《支部総会》2018年度の収支報告が渡部支部長からあり、了承されました。次年度からは、会計担当幹事から説明して欲しい、会計監査も近隣の方が対応されてはとの要望がありました。2019年度の関西支部の行事は、会場準備の都合もあり、いつもと入れ替えて2020.3.14(土)総会・研究発表講演会、3.15(日)見学会の予定で準備を進めることとなりました。

《交流会》総会后、大阪梅田地下街の「ニュー・トーキョー大阪第一生命ビル店」へ移動して、交流会が行われました。13名の参加でしたが、若い会員の参加が2名、新入会員が1名あり、個室だったこともあり、皆様と楽しく歓談することができました。

見学会、研究発表講演会と2日間の関西支部行事を、皆様の御協力のおかげで無事開催することができました。ここに厚く御礼申し上げます。最後に、いつも集合写真を撮って頂きお世話になっています白井一様に深謝申し上げます。



【 会 員 動 向 】

2018年4月30日現在の会員数を以下に示します。

顧問	正会員	学生会員	維持会員
5名	116名	5名	2団体

【 新入会員紹介 】

- 山下将央(徳明財經科技大学・学生会員)
- 高久有一(福井高専)
個人情報につき、氏名・所属のみ掲載(敬称略)

【 その他の学会動向 】

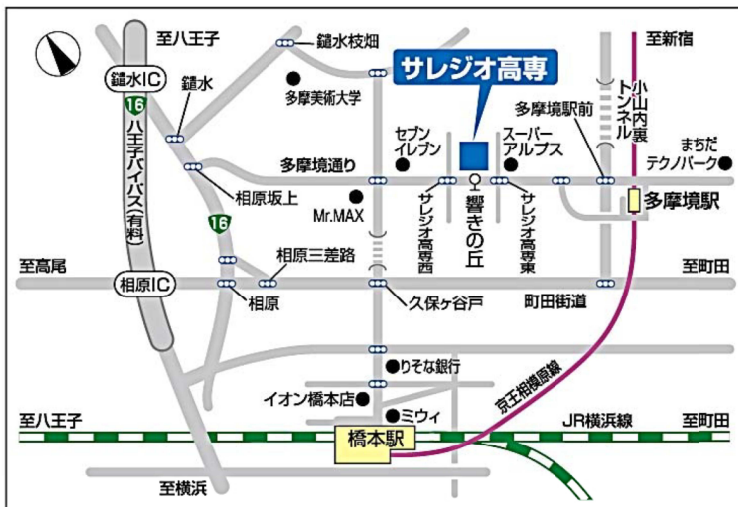
◇産業考古学会第43回(2019年)総会が開催されます。

開催日:2019年6月2日(日)総会・研究発表会・懇親会・評議員会 八王子市学園都市センター(東京都八王子市旭町9-1、JR八王子駅前)、
5月31日(金)プレツアー:八王子および日野の煉瓦生産跡

6月1日(土)メインツアー:八王子織物の現在・過去(京王八王子駅周辺出発→八王子郷土資料館→織物会館(八王子織物工業組合)→現在稼働中の織物工場→「絹の道」散策・絹の道資料館→JR八王子駅周辺解散

詳細は産業考古学会ホームページをご覧ください。

<http://sangyo-koukogaku.net/index.html>



- 京王相模原線 多摩境駅下車徒歩 約10分
- JR横浜線 京王相模原線
橋本駅北口から(橋78)多摩車庫行 バス利用「響きの丘」下車

◇日本科学史学会2019年度総会・第66回年会が開催されます。

開催日:2019年5月25日(土)

場所:岐阜大学(岐阜市柳戸1-1)

【 理事会議事録 】

◆第155回(通算198回)理事会

日時:2019年2月23日(土),15:00~18:00,場所:サレジオ高専1階104室(事務会議室),出席者:堤 一郎・山館 順・武長玄次郎・桑原啓一・中條祐一
議題 0)前回議事録(案)審議、1)総務委員会:会員動向,会費納入状況,HP更新状況等、2)編集委員会:学会誌発行,投稿規定改正に関して,NL発行等、3)企画委員会:2019年度総会準備,全国大会報告等、4)関西支部2018年度総会研究発表会報告、5)国際会議に関して、6)その他、7)次回理事会:2019年4月予定

【 2019年度会費納入のお願い 】

2月に郵送いたしました振込用紙で2019年度会費の納入をお願い致します。本学会の運営は会員の皆様の会費でおこなわれています。2018年度までの会費未納の方も、早急な会費の完納にご協力ください。

【 編集後記 】

皆様のお手元にニュースターが届くころには、平成から令和へと改元され、新しい時代が始まろうとしている頃と思います。先人からの多くの知識を新しい時代へと受け継いでいくのも本学会の役目と思っております。さて、2019年度の総会研究発表講演会のご案内を掲載いたしました。発表件は16件の申し込みがございました。分野が多岐にわたっており、会の特色が出ている様に感じしております。多くの会員の参加申し込みをお待ちしております。(穂積洋一)

日本技術史教育学会ニュースター 第118号

2019年4月25日 印刷

2019年4月30日 発行



技 術 史 教 育

Education for History of Technology

発行者 日本技術史教育学会 会長 牛山 泉
編集 日本技術史教育学会

(株) プラス・ワン 気付 日本技術史教育学会 事務局
〒113-0034 東京都文京区湯島1-12-5 小安ビル6F

TEL/FAX: 03-3835-2494

E-Mail: jseht@nifty.com